

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行
第221号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

6月24日	京都母親大会	10:00	テルサ
6月30日	最低生計費調査実行委員会	13:30	ラポール第1
7月6日	高齢者怒りの行動	16:00	マルイ前
7月14日	最賃うちわ宣伝	17:00	四条烏丸
7月20日	争議支援ビアパーティ	18:30	さざんか亭六角店
7月20日	最賃昼デモ・労働局請願	12:20	御射山公園

主な日程



6・7 安倍首相やめろ！緊急宣伝・デモ

ウソつきごまかし 安倍内閣は退陣を

データをねつ造りしてまで「働き方改革法案」を強行、森友・加計疑惑で安倍首相を守るための公文書改ざん、セクハラ問題など人権感覚のない政権、戦争法の危険性を隠すための防衛省の日報隠し。ウソがまかり通る政治は、国民をないがしろにする政治です。「安倍内閣は今すぐ退陣を」の声を大きくして、正義が通る、あたり前の政治を取り戻しましょう。

安倍「働き方改革」NO!

森友・加計疑惑やデータねつ造り、文書改ざんなどにフタをしたまま、「カジノ法案」や「働き方改革法案」など、悪法の強行は許されません。「残業代ゼロ」など狙って

「過労死促進」の働き方改革法案を許さない取り組みを強めましょう。安倍「働き方改革」は、これぞ「働き方改革」ではありません。終わりはありません。さらに「解雇の金銭解決」で解雇自由の社会、「裁量労働制の拡大」なども狙っています。「8時間働けば普

通にくらせる社会」「人間標」に向けて職場・地域で取り組みを強め、「9条改憲



次々集まる3000万人署名

デモで市民にアピール

都では約28万筆集めていまして。この署名は改憲断念まで継続します。全国3000万筆、京都60万筆の目



て、引き続き取り組みを強めることが重要です。3000万人署名、改憲断念まで継続
内閣支持率が落ち込む中でも、安倍首相は「9条改憲」に固執しています。憲法9条に「海外で武力行使する自衛隊」を書き加え、「戦争する国」へ変えようとして狙っています。軍事予算優先で福祉・教育・くらしの予算はパッサリ削減、基本的人権も制限。そんな日本にさせないために「3000万人署名」がますます重要で、6月7日に第1次分1350万筆の署名が国会に提出されました。京

魅力いっぱい



18原水爆禁止世界大会
歴史的な大会に職場代表を
8月4日(土)~6日(月) 広島

私たちはいま、核兵器のない世界に向けて歴史の新しいステージに立っています。6月12日、世界が注目する中、歴史的な米朝首脳会談が行われ、両首脳は朝鮮半島の「完全な非核化」と「安全保障」に合意、共同声明に調印しました。また核兵器禁止条約が成立し、「核兵器のない世界」への新たな展望が開かれようとしています。これらの歴史を動かす大きな力となったのが、60年以上にわたる原水爆禁止運動と被爆者運動です。世界の新しい流れをさらに大きく確かなものにするために、現在取り組んでいる「ヒバクシャ署名」と18原水爆

禁止世界大会の成功は、今まで以上に重要となっています。世界大会を希望される大会にするためにも、全ての単産・地区労協で「核兵器のない世界」への情勢と展望を学び、「ヒバクシャ署名」に取り組みとともに、世界大会に代表を派遣しましょう。今年の大会は、8月4日(土)~6日(月)の広島大会がメイン。土曜日(月)の日なので、参加しやすい大会となっています。若い労働者を組織し、核兵器廃絶へのダイナミックな変化を体験してもらうことは、今後の労働組合運動にとっても大きな意義があります。各組織から世界大会へ代表を送りましょう。詳細は京都総評まで。(MY)

「京都新聞」6月2日付



米軍、レーダー停止せず
ドクターヘリ搬送遅れ
17分間、防衛省に抗議
搬送遅れ、負傷者の搬送が17分間も遅れる重大な事態が発生しました。さらに、過去に数回、米軍が停

以外でも工事を行っていません。あまのの傍若無人な振る舞いに、三崎京丹後市長が防衛省に対して抗議を行いました。ところが米軍は、市長の抗議を無視して工事強行する暴挙に出まし「安全・安心対策連絡会」

米軍、約束を破り次々 京都に米軍基地いらない

約束破りの常習犯
5月15日、伊根町で起きた交通事故の救急患者を下クターヘリで搬送するため、宮津与謝消防組合が米軍基地にレーダーの停波要請を行ったところ、米軍がこれに応じず、負傷者の搬送が17分間も遅れる重大な事態が発生しました。さらに、過去に数回、米軍が停波要請を行っていません。あまのの傍若無人な振る舞いに、三崎京丹後市長が防衛省に対して抗議を行いました。ところが米軍は、市長の抗議を無視して工事強行する暴挙に出まし「安全・安心対策連絡会」

どなたでも参加いただけます

第14回 STOP THE 働きすぎ 働き方を見直す京都集会

「第14回STOP THE 働きすぎ！ 働き方を見直す京都集会」が7月7日(土)、午前9時半からラポール京都で開催されます。主催は、京都総評も参加する実行委員会。脇田滋先生(龍谷大学名誉教授)の「労働者が大切にされる『働き方改革』の実現と展望」と題した講演、4つの分科会が行われます。

参加費：500円
日時：7月7日(土) 9:30~16:30 会場：ラポール京都

TUBUYAKI

3月、機関紙協会の沖繩共同取材に参加。キャンプシユワブのゲート前に座り込むために20数人の機動隊員が殺到し、「1人ずつ「ごぼう抜き」に。この様子をビデオ撮影する機動隊員に「顔が映るように撮っておけ」と命じている。「排除」した住民をひとごころに集め、機動隊員が「人間の柵」となって閉じ込めて事実上「拘束」、何の法的根拠もなく自由を奪う暴挙▼こうしてキャンプシユワブのゲートを明け、そこへ大型ダンクなどの工事車両が次々と入っては出ていく。この日は351台が搬入された▼新基地建設工事は野野古側で護岸工事が急ピッチにすすめられている。しかし、新基地建設の全体からすればごく僅か。国は8月に一部区域を護岸で囲んで土砂を入れて埋めて工事に着手すると県に通告した。埋め立て工事を始めて、「もうダメだ」と県民をあきらめさせようという意図が透けて見える▼護岸工事はすめられていくが、埋め立ての土砂の大半を県外から調達しなければならず、県の条例による規制が単純にはいれない。新基地予定地に活断層がある疑いが濃厚になっている。知事は埋め立て承認の「撤回」を必ず行くと明言。秋には県知事選挙。いよいよまたたいは正念場だ。(MY)

普通に暮らすために必要な賃金は？ 生活実態調査(最低生計費調査)で 明らかにしよう

普通に暮らしていくために賃金はいくら必要なのだろうか。生活実態調査(最低生計費調査)は、憲法25条に基づく「健康で文化的な最低限度の生活」＝「普通に暮らせる」当たり前の生活を送るために必要な費用(賃金)を可視化する調査です。京都総評は、この秋に調査活動を行い、最低賃金引き上げの取り組みや春闘での賃金闘争など労働組合の活動に生かしていきます。調査は単産・地区労働組合、取り組むことが重要です。生活実態調査について池田事務局長に聞きました。



池田和弘 京都総評事務局長に聞く

組合活動に生かせる調査活動

生活実態調査(最低生計費調査)は、労働者が普通に暮らすためにはいくらか必要なのかを調べ、労働組合の様々な運動に生かしていくことが目的です。京都総評は、全国に先駆

けて2005年に同様の調査を行い、最低賃金の引き上げを求める運動や、公契約条例制定の運動などで、中小企業家の方を含め、広く合意を広げていくうえで大きな「力」を発揮し、全国的にも注目されてきました。しかし、すでに前回調査から13年が経過して

「一粒で5度美味しい」調査

「当たり前前の生活」を可視化しよう

す。調査結果の分析をお願います。静岡県立大学短期大学部の中澤秀一先生は、この調査は「一粒で5度美味しい」とその意義を強調されています。

いま、憲法25条で、全ての国民の権利として定められた「健康で文化的な最低限度の生活」が、あたかも、生存が維持できれば良いとする水準に押しとどめようとする政治が横行しています。その結果、生活保護水準の引き下げや年金支給額の減額などが行われ、貧困の連鎖が生み出されています。このような時代だからこそ、この調査を通じて、「当たり前前の生活」や、労働者の「あるべき生活の状態」を明らかにすることの意義は大きいものがあります。

調査内容は、①生活実態調査、②手持ち財調査、③市場価格調査、④政府統計に基づく加算の4種類で、中でも重要な調査は、生活実態調査と手持ち財調査であり、組合員のみならず、協力的な方にはアンケート。具体的には、アンケートに答えていただき、結果を提出いただくものです。調査結果は、①最低賃金の大幅な引き上げ、全国一律最賃制に正当性を与える、②春闘などの賃金討議の素材として活用できる、③公契約の下で働く労働者の賃金設定の基礎を明らかにできる、④公務員賃金に関わる人々の標準生計費批判の根拠となる、⑤賃金と社会保障を考える手がかりとなるというもので

調査は単産・単組・支部・分会での学習と議論をすすめ、「調査の記入会」などみんなで集まり楽しく調査活動に取り組むことが大事です。組合員のみならず、ご協力をお願いします。



最賃うちわ宣伝—今年は7月14日に

り、社会環境が大きく変化し、同時に、悪政の下で、格差と貧困の拡大が指摘されていることから、改めて調査することが求められました。この調査は、全労連の呼びかけもあって、2015年以降、全国的に取り組みられ、すでに8道県で調査が行われています。その調査からも、労働者の標準的な生活費には、地域的な差が見られないことも明らかに。全国一律最低賃金制度の実現を」という、私たちの要求に正当性を与えるものとなっています。

みなさんのご協力をお願いします。

最低生計費試算調査のお願い

最低賃金・非正規労働者協議会

「生活実態調査」は、労働者が「普通に暮らす」ために必要な費用を調査するものです。調査結果は、最低賃金の引き上げや、賃金闘争などに活用されます。調査は、単産・単組・支部・分会での学習と議論をすすめ、「調査の記入会」などみんなで集まり楽しく調査活動に取り組むことが大事です。組合員のみならず、ご協力をお願いします。

手持ち財調査

「手持ち財調査」は、労働者が「普通に暮らす」ために必要な費用を調査するものです。調査結果は、最低賃金の引き上げや、賃金闘争などに活用されます。調査は、単産・単組・支部・分会での学習と議論をすすめ、「調査の記入会」などみんなで集まり楽しく調査活動に取り組むことが大事です。組合員のみならず、ご協力をお願いします。

月1回開催 「子ども食堂まんぷく」

北上地区労務局長 岩井 史彦



カレーを食べて「まんぷく」に

北区で今年2月から月に1回開催している「子ども食堂まんぷく」のとりくみについて紹介します。

子ども食堂は、奇数月は第4土曜日・偶数月は第4金曜日(時間はいずれも午後5時30分)に北区紫野東野町にある高齢者生協「らじこ」の会議室を会場にお借りして開催しています。子どもは無料、大人200円で、今のところメニューは毎回カレーライスと温野菜サラダです。

子どもの貧困が自分たちの目には見えない

子ども食堂をとりくむきっかけとなったのは、10数年前から継続して年2回「何でも相談会」を開催してきましたが、相談会に訪れる人の大半は高齢の方で、若い方が相談に来られることはほとんどありません。子どもの貧困が社会では大問題になっているのに自分たちの目には全く見えない。これが始めるきっかけです。約1年間準備会で活動し議論や学習を重ねて、やっとオープンしました。

多くの地域の方々に支えられて

子ども食堂にとりくんでみて、気が付いたことは、多くの皆さんが協力してくださることです。地域の小学校や学童保育関係者、社会福祉協議会、労働者、学生ボランティア：子どもの貧困を何とかしたいという思いを持った人がたくさんつながることが始まったと実感しています。

総評フラッシュ



6月7日 労働審判員と自由法曹団との懇談会



労働審判制度ができて11年目。京都総評推薦の労働審判員は現在7人です。半年に一度労働審判員と自由法曹団との懇談会を実施。労働審判事件の全国と京都の傾向、労働審判に対する裁判所の対応、労働審判の課題などの意見交換を行っています。



5月26日 労働安全衛生学校

京都総評は、働くもののいのちと健康を守る京都センターと共催で、5月26日に、第25回労働安全衛生学校を開催し、のべ49人が参加しました。参加者は「職場の労安活動」「労災認定、労災補償」「職場のメンタルヘルス」の3講義を熱心に学習しました。

6月12日 京都府要請(府市民総行動)



新行事になったのは初めての要請行動に京都総評をはじめ実行委員会参加の16団体19人が参加。奨学金制度、中小企業支援、公契約条例、介護労働者の処遇改善、子どもの医療費、中学校給食など切実な要求の実現を京都府に求めました。

新連載 わたしのオト本

『プラタモリ』

京都自治労連 執行委員長 福島 功

この本は、土曜日の19時30分からNHKで不定期に放送している『プラタモリ』のいわば解説本である。番組ではタモリが訪れた街をラブラ歩きながら与えられたテーマを深めて行くのだが、単なるタウンガイドではなく歴史や地形・地質などの角度からも深めるもので、観ていて面白くなるというのか、様々なこ

印象には残るのだが録画しても細かいことがわからないことも多々ある。TVに出た古文書や古地図を再掲し更なる解説も加えて補ってくれるのがこの本だ。番組よりも半年ほど遅い発行となるのだが、既出する欠かせないツールとなっている。出張が楽しくなること間違いなし、ぜひご覧あれ。



書名・プラタモリ
出版社名・角川書店
監修・NHK「プラタモリ」制作班
定価・1400円+税
現在1~12巻刊行